

とるべきポジションの声明

エビデンスがあり、理論的に優れた教育は、強力で適切な専門職の礎となる。作業療法士のための現代の教育は、状況特有のニーズに対応し、国境を超えて交換可能で、強固なエビデンスに基づいている¹。

教育研究は、将来の作業療法士たちをサポートし、作業療法という専門職のための人材育成を維持し、最先端の実践を進め、専門能力を高める。

作業療法を取り巻く状況の急速な変化が私たちに求めることは、既存の教育や新しい教育に対応し、知識の形成や交換に参加し、教育プログラムや専門能力開発資源を計画することであり、これは最良の入手可能な理論枠組みや経験的エビデンスに基づくものでなければならない。

この声明が目指すのは、作業療法教育と研究における WFOT の進行中の取り組みを進めることである。教育研究は、WFOT 作業療法士教育の最低基準 (2016)¹と WFOT 国際的作業療法研究優先事項 (2016)²と並ぶものである。

作業療法にとってのポジションの重要性についての声明

世界的な作業療法教育が直面する機会と挑戦への対応における教育研究の発展に必要とされる国際的努力が求められる。これには、次のものが含まれる²⁻⁴。

- 1) パンデミックなどの中断、気候変動、グローバリゼーション、技術革新、地球的問題、戦争、政治運動といった時期への対応において、教育と実践の革新的で進歩的方法について考えること
- 2) 新しい地域における作業療法教育プログラムの拡大、現行のプログラムで学生数の増加
- 3) 革新的な作業中心のカリキュラムの必要性
- 4) 地方や世界、個人や社会といった視点での知識の概念化を進める
- 5) 増大する学際的、多職種連携での教育、実践、研究
- 6) 人口増加、地域住民特有の健康ニーズ、変化する移民パターン、世界的な作業中断の新たな形態を含む変化
- 7) 規制の増大、専門能力開発における責任が組織よりも個人にかかっていること、教育の商業化を含む説明責任構造の変化
- 8) 平等と多様性、社会のインクルージョン、文化の認識、作業的公正に参加する反抑圧的アプローチの必要性

社会にとってのポジションの重要性についての声明

この専門職の教育研究能力の進展は、個人、集団、コミュニティ、全住民への作業療法士の社会的貢献の質の向上に貢献するだろう。それは、世界の作業療法人材の知識、専門能力、態度、行動の進展により行われる⁵。

質の高い、影響力のある教育を受け、変化し複雑な世界において省察し対応し、地球市民として貢献する能力があり、社会的に行動する作業療法士から、世界のコミュニティや社会は利益を

得る。

世界はより一層関連し合うようになり、知識の創出と交換が分野を超えて、国境を超えて行われ、消費者や関係者と一緒に取り組むようになると、これは現代のニーズや新しいニーズを充足し、この専門職が生き残ることを助けるだろう。将来の地球市民は、作業療法という専門職が花開くために必要であり、作業療法が社会に提供することから利益を得る個人および全住民の健康と幸福 (well-being) への貢献を拡大するだろう。

結論

作業療法における教育研究を進展させることは、この専門職の発展をサポートし、拡大する。私たちは最先端の理論とエビデンスを使えるようにし、統合し、交流を高め、普及し、評価し、流通させていく必要がある。理論とエビデンスは、教育の実践や方針に影響を与えるように翻訳され、国や地域、文化を超えて多様性を尊重していくことになる。

文献

References

1. World Federation of Occupational Therapists. (WFOT; 2016). *WFOT Minimum Standards for the Education of Occupational Therapists*. <https://www.wfot.org/resources/new-minimum-standards-for-the-education-of-occupational-therapists-2016-e-copy>.
2. World Federation of Occupational Therapists. (WFOT; 2016). *WFOT International Occupational Therapy Research Priorities*. <https://www.wfot.org/resources/wfot-research-priorities>.
3. Hooper, B. (2016). Broadening the scope and impact of occupational therapy education research by merging two research agendas: A new research agenda matrix. *The Open Journal of Occupational Therapy*, 4(3), Article 1. <https://doi.org/10.15453/2168-6408.1305>
4. Galheigo, S. (2011). What needs to be done? Occupational therapy responsibilities and challenges regarding human rights. *Australian Occupational Therapy Journal*, 58(2):60-6
5. Guajardo, A., Kronenberg, F. & Ramugondo, E. (2015). Southern occupational therapies: Emerging identities, epistemologies and practices. *South African Journal of Occupational Therapy*, 45(1), 3-10.

協力者

Contributors

Aliki Thomas (Canada)

Elizabeth Anne Kinsella (Canada)

Hashem Salman Abu Tariah (Jordan)

Sally Bennett (Australia)

Sandra Bressler (WFOT)

Sandra Galheigo (Brazil)

Jyothi Gupta (USA)